

経営者の
伴走者



経営支援員との

HEART
TO
HEART

補助金申請のサポートや交流会、セミナーの情報提供で 販路拡大の機会が有効に活用でき 技術開発へのモチベーションも さらに向上しています。

OEMから新技術の開拓へ

名古屋に本社を持つ服部商店が淀工場を開設したのは昭和26年のこと。「名古屋とはほぼ独立採算体制で、当工場は製品開発に力を入れてきました。OEMを中心としてきましたので、一般にはあまり知られていませんが」と語るのには、「工場長の中山芳和さん。製品は時代の流れとともに染色の助剤から建築用の防水材、接着剤、塗材へとシフト。さらに近年では「挑戦と創造」を合言葉に、オリジナル製品の開発に力を注ぐ



洛南支部経営支援員

野川 津与志

株式会社服部商店 淀工場

中山 芳和 氏

株式会社服部商店 淀工場

代表者 / 中山 芳和

住 所 / 京都市伏見区淀美豆町 705 番地

TEL / 075-631-3128

URL / <http://www.hattori-shoten.co.jp>

事業内容 / 建築用シーリング材、接着剤、補修材の製造販売

ように。その成果として誕生したのが、臭いが少なく環境にやさしいエポキシ「NEOON」シリーズで、現在は床材と注入材を展開。「画期的な商品なのに販促に不慣れで(笑)。ある時、京商さんに相談したらと助言されたんです」。

身近な「支部」のありがたさ

これまでに支店長会をはじめ、何度か会合には参加したことがあったが、「淀からは遠い」と思い込んでいた中山工場長。「メッセ名古屋2014」出展に向けて、春に募集のあった「販路開拓支援

事業補助金」の相談のために洛南支部を訪れたのが始まりだった。「こんなに近くで相談に乗っていただけることに驚きました」。野川支援員によるサポートもあって補助金が採択されると、その後も、洛南支部地域活性化会議セミナーに参加し、人材確保について学んだ。「関心に合った情報提供が非常にありがたいです。京都商工会議所の事業に限らず、関係団体の情報もいただきながら、PRや交流、勉強の機会をいただき充実した活動につながっています」と笑顔で語る。

人とのつながりを大切に

11月には京都市の「知恵創出『目の輝き』企業にも認定され話題に。野川支援員も「技術力を活かし、市場ニーズに定める積極的な製品開発や販路開拓への取り組みは、知恵産業に向けた大きな原動力のような存在」と絶賛。「正直、成熟市場といわれる分野ですが、そこで立ち止まりたくはない。交流が広がるほどに可能性も広がり、新たな発想のヒントになります。これからもサポートや情報提供をいただきながら、交流会などに参加してネットワークを広げ、販路開拓や商品開発に生かしていきたいと思います」と中山工場長の目はさらに輝く。

親身なヒアリングから、飛躍に導く提案を。

事業者との信頼関係を構築し、適切な判断とよりよい方向性のご提案ができるよう心がけています。

中山工場長は少しお話ただけでも、創業60余年に及ぶ歴史で培ってきた開発技術と商品をより多くの人たちに知ってほしいという純粋な熱意が

伝わってくる方。今後もいっそう飛躍していただくのお手伝いとして、展示・商談会、セミナーのご案内や、各種補助金・助成制度の活用、専門家派遣といった京都商工会議所独自の施策をご提案し、伴走支援を行いたいですね。

担当支援員

京都商工会議所
中小企業
経営支援センター
洛南支部



私が担当いたしました /

京都商工会議所
中小企業経営支援センター
洛南支部 経営支援員

野川 津与志